

団体名		公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団				
①	指標名	お客様満足度の向上		目標値	体育施設事業の参加者の平均満足度、武蔵野プレイス・吉祥寺図書館・自然の村のモニタリング総合満足度 いずれも 90 %以上	
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: %)	体育施設事業92.6% 武蔵野プレイス91.8% 自然の村95.5%	体育施設事業91.9% 武蔵野プレイス96.5% 吉祥寺図書館86.3% 自然の村97.2%	体育施設事業90.8% 武蔵野プレイス95.8% 吉祥寺図書館83.9% 自然の村92.3%	平成30年度から新たに指定管理となった吉祥寺図書館は目標に達していないが、4施設共に高い満足度を維持している。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し				
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 モニタリング調査とは別に、すべての生涯学習事業、スポーツ教室事業、野外活動事業では参加者からアンケートを回収している。参加者の意見を直接聞くことで、事業の企画・見直しや施設の修繕・改修等の重要な情報源となっている。 また、武蔵野プレイス及び吉祥寺図書館では個別事業の満足度だけでなく、利用者が気軽に来館することができる「場」としての使いやすさや接客を含めた快適性を反映するモニタリングの総合満足度を指標としている。自然の村においても、接客態度や食事等も含めた総合満足度を指標としている。				
業	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設ではスポーツ教室・イベントすべてにおいてアンケートを実施している。「満足度」だけではなく「初参加者の割合」「出席率」「応募倍率」「身体・生活に良好な変化があった人の割合」「交流の広がりがあった人の割合」「活動の継続を希望する人の割合」「参加者の負担率」「非営利組織による同様事業の実施状況」「営利団体による同様事業の実施状況」「情報取得源」など多岐にわたる観点から事業評価を行い、得点化して事業の見直しを常に実施している。 武蔵野プレイス及び吉祥寺図書館でも同様の分析を行い高い評価を得ているが、事業参加者以外の来館者の声を重視してモニタリングの総合満足度を目標値としている。また、「利用者からの声」については、施設からの回答と合わせて、随時館内に掲示している。自然の村においては、利用者意見等について現地スタッフとの調整を適宜行い、柔軟かつ素早い対応を行うとともに、備品等の要望についても可能な範囲で設置をしている。				
	②	指標名	自主財源の確保		目標値	参加料収入等 21,200千円 (16,600千円)
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	44,102千円 (34,015千円)	42,758千円 (31,120千円)	37,381千円 (25,764千円)	大幅な増加は見込めないものの、毎年安定した収入を確保している。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(1) 経営健全性の確保				
財	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 事業団の経営安定化と諸課題対応や利用者の利便性向上のため、自主財源の確保を図る。 数値は事業参加料+基本財産運用収入+業務委託収益(収益事業)の合計である。(カッコ内は事業参加料のみの数値) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設利用制限に伴い、事業数・事業参加者数(定員)及びカフェ・自動販売機の利用者数が大幅減となる。そのため、参加料と業務委託収入を令和2年度予算の約1/2に設定する。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・基本財産の運用は、安全で確実かつ有利な方法で行う。 ・コロナ禍での参加者数の制限等により自己負担比率の低下が見込まれる。参加者への付加サービス(消毒等)も増えるため、過度な負担増とならない範囲での参加料の見直しについても検討する。 ・令和2年度の下半期に、感染拡大が収まる等の状況に変化がみられる場合、事業参加人数(定員)の回復について検討する。				
	③	指標名	(公財)武蔵野文化事業団との統合に向けた具体的項目の検討・調整		目標値	統合に係る具体的項目についての整理・調整の完了
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )			統合検討委員会による検討	両事業団の統合の効果と統合に向けた課題、効果的な統合のために必要な事項等について検討した。	
財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目	(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進					
部	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 令和4年4月の統合を目標に準備を進めるにあたり、両事業団間の組織、人事体制、規程、労務管理、会計等の差異を整理・調整する必要がある。令和2年度は、統合後の組織で運用できるように検討、整理し、令和3年度には定款や規程の改正、システム構築などの具体的作業に着手する必要がある。				
	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 両事業団の職員で構成される合併準備会に、「総務・管理」「例規・要項」「広報」「情報基盤・施設予約システム」「人事管理システム」「経理」の6部会を設置し、検討を進める。 ・進捗状況について、適宜、市及び教育委員会に報告し、調整、協議を行いながら進めていく。				
	④	指標名			目標値	
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )					
財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目						
管	設定理由等					
	取組内容					
	⑤	指標名			目標値	
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )					
財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目						
理	設定理由等					
	取組内容					
	⑥	指標名			目標値	
	過去の実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: )					
財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目						